2012年６月号臨時増刊

東日本大震災 最前線の証言

■編：「月刊消防」編集室
■ B5判112ページ
（カラー32ページ）
■予価 1,050円（税込み）

本部で、現場で、どう考え、どう動いたか

発災直後から休みなく活動した被災地の隊員、緊急消防援助隊の受け入れや関係機関等との調整に奔走した本部職員、発災直後から長距離を走破して現地に駆け付けた緊急消防援助隊、福島第一原発への注水作戦に同行した医師など、震災時さまざまな立場、局面にいた人々の証言を収録。

「月刊消防」にこれまで掲載された記事に加筆して収録するほか、さらに、山口芳裕教授（杏林大学）をはじめとする新たなインタビュー、手記も追加。

※誌面は『月刊消防』掲載時のものです。
※書名・内容・価格・刊行時期などは変更になる場合があります。
・６月号をご購入の方には臨時増刊号もお送りいたします。（本誌代＋臨時増刊号代の合計を請求いたします。）
・ご不要の場合についての詳細は、表紙見返しをご覧ください。